

chuushaku.sty

Hugh

2025 年 1 月 1 日

1 概要

このパッケージは、基本的な T_EX/ L^AT_EX の機能のみを頼って、傍注領域ではなく本文領域に自由度の高い注釈環境を実現するための成果物です。

プリアンブルで以下のように宣言することで、すべての機能が使用できます。

— chuushaku.sty —

```
\usepackage{chuushaku}
```

2 基本的な使い方

注釈環境の基本的な使い方は、以下の通りです。

— chuushaku 環境 —

```
\begin{chuushaku}
```

$\sqrt{2}$ が無理数であることを背理法[†] `\chuu{\br{-}.8}\begin{枠囲み}{鉄則}` 否定的命題 `\Rightarrow` 背理法 `\end{枠囲み}` で証明する。 `\par`

$\sqrt{2}$ が有理数であると仮定すると、 $\sqrt{2} = \frac{a}{b}$ となる整数 a, b ($b \neq 0$) が存在する。ただし、 a, b は互いに素[†] `\chuu{\$}\bun{a}{b}` が既約分数ということ}であるとする。

```
\end{chuushaku}
```

⇒

$\sqrt{2}$ が無理数であることを背理法[†]で証明する。
 $\sqrt{2}$ が有理数であると仮定すると、 $\sqrt{2} = \frac{a}{b}$ となる整数 a, b ($b \neq 0$) が存在する。ただし、 a, b は互いに素[†] であるとする。

▶ **【鉄則】** —————
 否定的命題 ⇒ 背理法
 ▶ $\frac{a}{b}$ が既約分数ということ

上では枠囲みを用いていますが、他にも `enumerate` 環境など、様々なコマンドと併用して使用可能です。

3 カスタマイズ

3.1 注釈記号

本文中の注釈記号と傍注領域の注釈記号は、以下のように自由にカスタマイズ可能です。

注釈記号の変更①

```
\chuukigou{${*}$}{←}
```

⇒ $\sqrt{2}$ が無理数であることを背理法*で証明する。
 $\sqrt{2}$ が有理数であると仮定すると、 $\sqrt{2} = \frac{a}{b}$ となる整数 a, b ($b \neq 0$) が存在する。ただし、 a, b は互いに素*であるとする。

← **【鉄則】**
 否定的命題 ⇒ 背理法
 ← $\frac{a}{b}$ が既約分数ということ

また、各注釈環境ごとにカウンタ (chuubangou に保存) を用いることもできます。ただしこの場合、環境を中断するごとに値は 1 にリセットされます。

注釈記号の変更②

```
\chuukigou{\thechuubangou} \ispace}{\, \n} \ispace}
```

⇒ $\sqrt{2}$ が無理数であることを背理法¹⁾で証明する。
 $\sqrt{2}$ が有理数であると仮定すると、 $\sqrt{2} = \frac{a}{b}$ となる整数 a, b ($b \neq 0$) が存在する。ただし、 a, b は互いに素²⁾であるとする。

1) **【鉄則】**
 否定的命題 ⇒ 背理法
 2) $\frac{a}{b}$ が既約分数ということ

3.2 スペース

スペースの一時的変更

```
\begin{chuushaku}[.5]  
[...]
```

⇒ $\sqrt{2}$ が無理数であることを背理法[†]で証明する。
 $\sqrt{2}$ が有理数であると仮定すると、 $\sqrt{2} = \frac{a}{b}$ となる整数 a, b ($b \neq 0$) が存在する。ただし、 a, b は互いに素[†]であるとする。

▶ **【鉄則】**
 否定的命題 ⇒ 背理法
 ▶ $\frac{a}{b}$ が既約分数ということ

上例において、最初の [.5] は、ページ横幅に対する本文の長さの比率を表します。もう一方の <1> は、本文と傍注領域のスペースの全角幅を表します。いずれもデフォルトの状態は、

```
\begin{chuushaku}[.68]<.7>
```

です。しかしいちいち手動で設定するのは、いささか面倒です。そこで、プリアンブルにて一括変更する手段を設けました。

—— スペースの一括変更 ——

```
\chuuhaba{.68}
\chuuaki{.7}
```

4 注意点

このパッケージを用いて作成した文書は、最後に必ず 2 回続けてコンパイルし直してください。

また、傍注領域では必ず 1 つ以上の \chuu を用いてください。

本環境は、ページまたぎ非対応です。